

緒方地区「地域づくり計画書」

「地区を知り、地区の繋がりと絆で

緒方「^び^い^き美活喜」なまちづくり」



<地区のまちづくりの方針>

1. 魅力的な風景や歴史や文化など後世に継承したまちづくり
2. 世代や分野を超えた多様な交流を確保したまちづくり
3. 安全安心で、交通の整備を確保したまちづくり

目 次

1	地区の現状	P 2
1.	はじめに	
2.	地域づくり計画とは	
3.	緒方地区の現況	
4.	計画策定の趣旨、方針	
5.	計画の期間	
6.	人口の推移	
7.	自治組織	
8.	地区の年間行事	
9.	産業・就業状況	
2	地区の魅力・資源	P 1 1
1.	大切にしたいこと	
2.	地区から出た意見・まとめ	
3	集落点検やデータの整理	P 1 4
4	ゴール(10年後の姿)	P 2 1
1.	基本理念	
2.	スローガンと方針	
5	ゴールに向けた具体的な活動内容	P 2 2
1.	自治活動による重点取り組み事項	
2.	長期的な課題と対応	
6	実行・検証	P 3 0
1.	誰もが暮らしやすい環境づくり	
2.	生き生きとした暮らしづくり	
3.	活力の創意と産業振興づくり	
4.	伝統行事の継承と人財育成づくり	
7	基本方針・推進目標・施策の事業内容	P 3 2
1.	誰もが暮らしやすい環境づくり	
2.	生き生きとした暮らしづくり	
8	資 料	P 3 6

私たちの「緒方地区づくり計画書」

～緒方「美活喜」な地区を目指して～

1 地区の現状

1. はじめに

(1) 編集にあたって

ここ緒方地区において、平成26年度から本格的に地域づくりについて検討し始め、ここに『地域づくり計画書』がようやく編集の運びとなりました。

この計画書は、将来の地区を自らの考えや行動でどのような地区にしていきたいか世代を超えた全ての住民で検討していただいた「夢」と「希望」がもてる魅力ある地区をつくるための指針となるものです。

この度作成した「地域づくり計画書」は、現在の地区の課題を追求し、どうすれば解決の方向に向かうのか、将来の姿をどのように描くのかを、準備段階からすべての地区住民を対象にして、アンケート調査や集会などを基にして、区長をはじめとする地区キーパーソンと協議などを重ねながら、一緒に考えてまいりました。

計画書に盛り込まれている解決策や将来像については、すぐ解決できるものもあれば実現に多くの時間や財源を必要とするものなど、まだまだ見えていない課題はたくさんあります。

これから先、計画を実施していく中で、皆さんの要望や提案などは年々変化してきますので、新たな課題が発生した時には、随時その解決策を検討し、重要であれば計画を変更するなど皆さまと一緒に行動を起こしていきたいと思えます。

地区の最高法規である「規約」を規範とし、語り合い、楽しみながら「自然に恵まれた“美しい”地区」、「区民が“生き生き”と暮らせる地区」、「すべての区民が“喜び”を分かちあえる地区」を目指し、緒方“美・活・喜(びいき)”な地区づくりを推進して参りたいと考えております。

平成28年3月

対馬市美津島町緒方区

区 長 田 口 一 男

2. 地域づくり計画とは

『地域づくり計画』とは、わたしたちが現在住んでいる地域をこれまで以上に「より住みやすく」、「魅力ある」地域にするため、行政と連携・協働しながら安心して夢と希望をもって生活できる地域となるよう地域住民と地域マネージャーが協力して地域の課題を解決し地域の活性化に向け「共に考え」、「共に汗を流し」行動することを目指して、地域の将来のビジョンを念頭に「地区の課題」や「地区の要望」を明らかにし、将来的に何を解決しなければならないかを明確にし、地域の現状や問題点の解決方法、活用したい地域資源やその活用方法について「短期」あるいは、「中長期」に改善するための事業や施策をまとめた『自分たちでつくる自分たちの計画書』です。

3. 緒方地区の概況

緒方地区は、対馬市美津島町の中央東岸に位置し、国道 382 号線から市道久須保緒方線を通じ 2 km のところにあります。

面積 3.24606k m² に平成 27 年 10 月末時点で 46 世帯 119 人が居住しています。これは、一世帯あたり 2.5 人となり、人口密度は 36 人/k m² となります。

地区の東側は姫神山及び紺青山、西側は明神岳、北側は緒方浦から三浦湾へとつづき、

山と海に囲まれた自然が豊かな、港に漁船がたたずむ小さな集落です。緒方という地名は、「小潟」に由来し、元々干潟の上に土砂が積もったとされており、



また、古来九州本土から大陸を目指す船は、対馬の中部東海岸を中継地として、緒方、久須保、犬吠の 3 つの浦がその中心であったことから、三浦湾と総称されるようになったそうです。

耕作地が少なく、三浦湾の豊富な水産資源と良好な漁港を利用した漁業が盛んでイカ釣り漁やはえ縄漁、サザエ採取

などが盛んに行われております。

気候は、対馬暖流の影響を受けて比較的温暖です。冬季には北西季節風が吹き荒れますが、湾口の黒島の存在と風下に開いている地形のおかげで湾内は比較的静穏です。

主な地元企業として(株)新出光石油対馬油槽所があり、ガソリン、A重油、軽油の貯油タンクに総量4,600kℓとガスタンクに総量420トンが貯蔵されており、ここから対馬市内の事業所や各家庭に搬送されております。

乙宮神社、金毘羅神社、弘法様、嶽神様、恵比寿様など多くの神社仏閣がありその伝統文化を継承しながら地区住民の創造性や労働意欲、地域の活性化を図られております。また、明治時代に建築された姫神砲台跡、折瀬鼻砲台跡などの歴史的建造物があり多くの方々が訪れます。



4. 計画策定の趣旨、方針

水産資源と漁場に恵まれた当地区は、特にイカ釣り漁が盛んで、かつては、イカ釣り漁船の基地として島原などから多くの漁師が移り住み、緒方浦では真珠養殖が行われ地区全体が活気と潤いに満ちておりました。

また、小学校があり、地区全体に子どもたちの元気な声が響き渡り、PTA活動や育成会の活動が盛んに行われ、世代間を超えた交流行事もあり賑やかでした。

しかし、近年ではイカの漁獲量の減少や燃油高騰などによるイカ釣り漁の不振と真珠会社の撤退により地場産業が衰退してしまい、生活スタイルの変化の影響で過疎化と少子高齢化が進み以前の活気が失われつつあります。

これからはこれまで以上に高齢者が安心して暮らしていける地区、お互いが助け合って暮らせる地区、子どもたちが誇りを持ち郷土愛に溢れる地区を目指しこれからの地域づくりを考えていく必要があります。

今後、この地域づくり計画の具現化に向けて「地域づくり委員会」を中心に地区の皆さんの協力を仰ぎながら10年後、20年後の地区づくりの活動を進めて

まいります。

5. 計画の期間

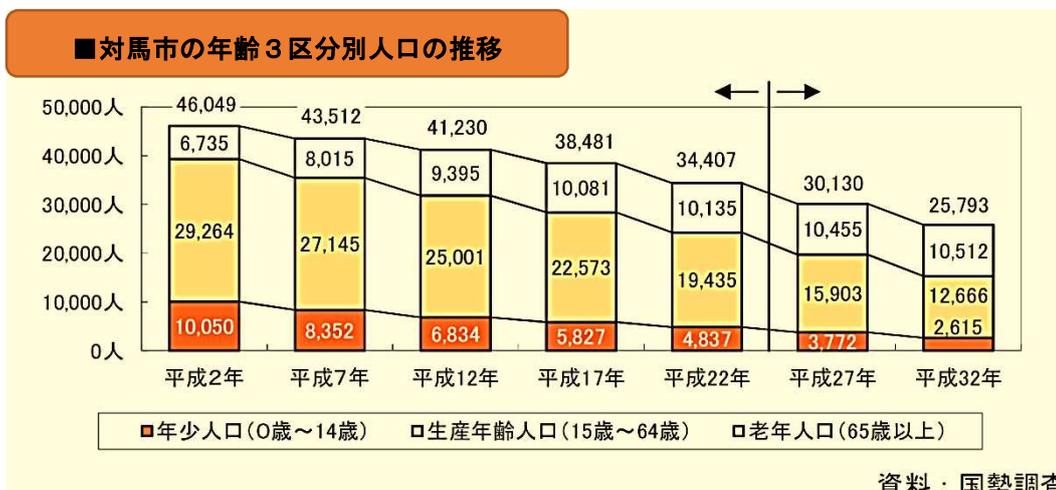
すべての住民が『支え合い』『協働し合い』、そして『暮らしよい』地区づくりを目指し、概ね10年後の住民が望む地区の将来像を見据え、3年後、5年後、10年後の具体的な地区づくりの実現に向けて様々な取り組みを住民の賛同と参加を頂きながら行っていきます。

この計画は、そのための指標とするために、住民アンケート等によるご意見をお伺いしたことについて、協議を重ね作成した「10年間の行動計画」であります。

計画は、10年といたしておりますが、内容については随時見直ししながら、実情に沿った計画にしたいと思っておりますので、住民ひとり一人のご理解とご賛同のもとで事業を進めていきますので、皆さまの益々のご理解とご協力をお願いします。

6. 人口の推移

対馬市の人口は減少傾向の一途をたどっており平成22年には20年前の平成2年に比べ25.3%減少しています。年齢3区分別にみると、0～14歳の年少人口は51.9%、15～64歳の生産年齢人口は33.6%、それぞれ減少しているのに対し、65歳以上の高齢者人口は50.5%増加しており、少子高齢化が急速に進んでいる状況といえます。平成22年の高齢化率は市全体では29.5%と高い割合になっております。

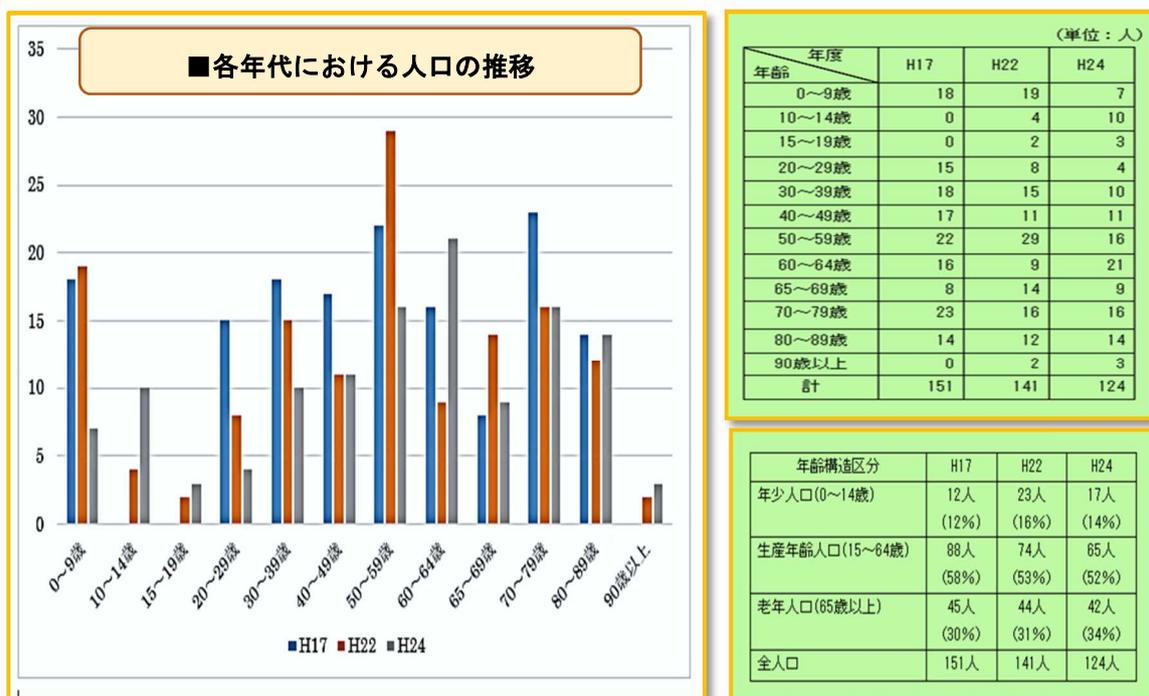


地区における平成24年9月1日時点の人口は、男60人、女64人の計124人で平均年齢52.9歳（男54.3歳、女51.6歳）となっております。

平成17年10月1日の国勢調査では地区の人口は、151人（男73人、女78人）、平成22年10月1日の国勢調査における地区の人口は、141人（男70人、女71人）となっております。

平成24年9月1日と比較して、平成17年で27人、平成22年で17人、それぞれ人口減となっております。

また、65歳以上の高齢者の割合（高齢化率）をみると平成17年は29%、平成22年は31%、平成24年は33%となっており、対馬市全体と比較して2%高く高齢化率が進んでいることが窺われます。さらに10年後の高齢化率は、56%となることが予測されており、このままの状況が進んでいきますと今後、更なる人口減少とともに、少子高齢化率に拍車がかかっていくことは明らかなです。



平成17年度から平成24年度の全人口の推移をみますとH17からH22は7%減、H22からH24では13%減、H17からH24では18%減と大幅な人口減が覗えます。

また、H17年度とH24年度の人口構造区分でみると年少人口(0～14歳)で2%減、生産年齢人口(15～64歳)で6%減、老年人口(65歳以上)で4%増、年少人口及び老年人口を生産年齢で支える従属人口指数も0.7から0.9と比率が高くなっており、今後少子高齢化及び人口減から発生する諸問題への取り組みが重要になってきます。

7. 自治組織

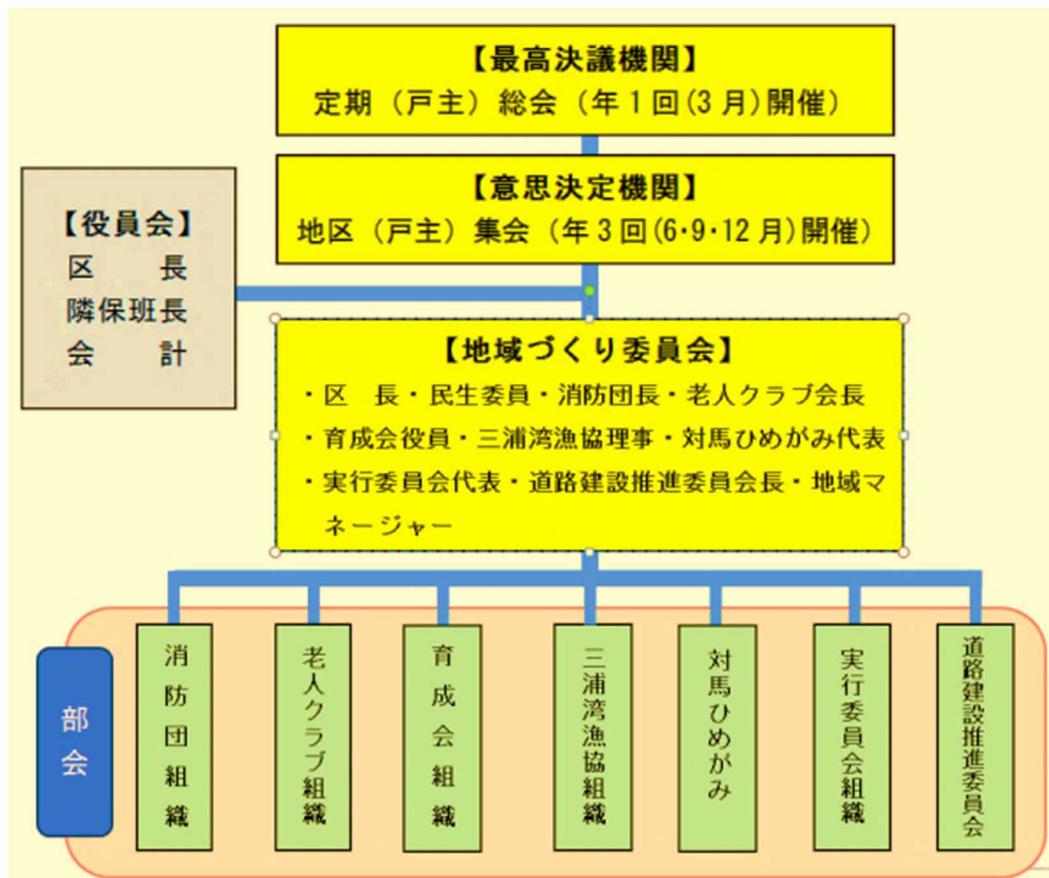
住みやすいまち・安心安全なまちづくりを実現させるには、行政の力だけでは実現できません。住民一人ひとりの地域活動（自治活動）が必要です。

その地域活動の根幹となるのは、普段の暮らしの中で培われた「隣近所で助け合う」「支え合う」という住民相互の信頼関係に根ざした機能、いわゆる「地域コミュニティ」であります。

地区には「規約」があり、住民はこの規約を共有し、地区の政は、すべてこの規約に基づいて自治活動が行われております。

年4回の集会には戸主が出席し総意のもと地区行事などの規約に基づき協議・決定されますので、住民同士の互助・絆といった自治活動の精神が強く堅持されております。

また、計画づくりにあたり、「地域づくり委員会」を新たに組織し、子どもから高齢者まですべての住民が人と人との信頼関係に根ざした共同体意識をもち、意思の疎通をとりながら地区の事柄に取り組んでいけるよう進めていきます。



(1) 定期（戸主）総会：意思決定の最高決議機関として年1回（3月）に開催します。

- ① 年間事業計画・予算を決定します。
- ② 事業報告・決算を承認します。
- ③ 区長を選出します。
- ④ 隣保班長を選出します。
- ⑤ 規約を制定・改廃します。

(2) 地区（戸主）集会：意思決定の場として年3回（6, 9, 12月）に開催します。

- ① 4半期ごとの事業報告・決算を承認します。
- ② 隣保班長を選出します。

(3) 役員会：執行機関で区長、隣保班長で組織します。

総会で決定すべき事項以外の地区の事業を執行するうえで必要な事項を審議します。

(4) 地域づくり委員会：各組織から選出された委員及び関係者で構成され、地域づくり計画書の見直し等について協議します。

(5) 部会：地域づくり委員会の下部組織として、地域づくり計画の内容について執行します。

8. 地区の年間行事

月	行 事	月	行 事
4	・金比羅様 ・弘法様 ・お寺、体育館清掃	10	・健康スポーツ大会 ・お寺、集会所清掃
5	・お釈迦様 ・お寺、集会所清掃	11	・お出ませ ・金比羅様 ・お寺、体育館清掃
6	・地区清掃、姫神砲台清掃 ・お寺、体育館清掃 ・地区（戸主）集会	12	・お入りませ ・緒方祭り ・お寺、集会所清掃 ・地区集会
7	・嶽祭り ・お寺、集会所清掃	1	・お寺、集会所清掃
8	・施餓鬼 ・仏様送り ・願ぼとき ・お寺、体育館清掃	2	・お寺、体育館清掃 ・つつじ植栽（与良郷事業）

9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嶽祭り ・ 地区清掃、姫神山砲台清掃 ・ 地区（戸主）集会 ・ お寺、集会所清掃 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ お釈迦様 ・ お寺、集会所清掃 ・ 定期（戸主）総会
---	---	---	--

9. 産業・就業状況

地区の就業人口は第1次産業の割合が32.0%で、対馬市の21.1%、長崎県の9.1%に比べると高いのが地区の特徴です。特に第1次産業の中で漁業は94.1%の割合になっており主要な産業です。

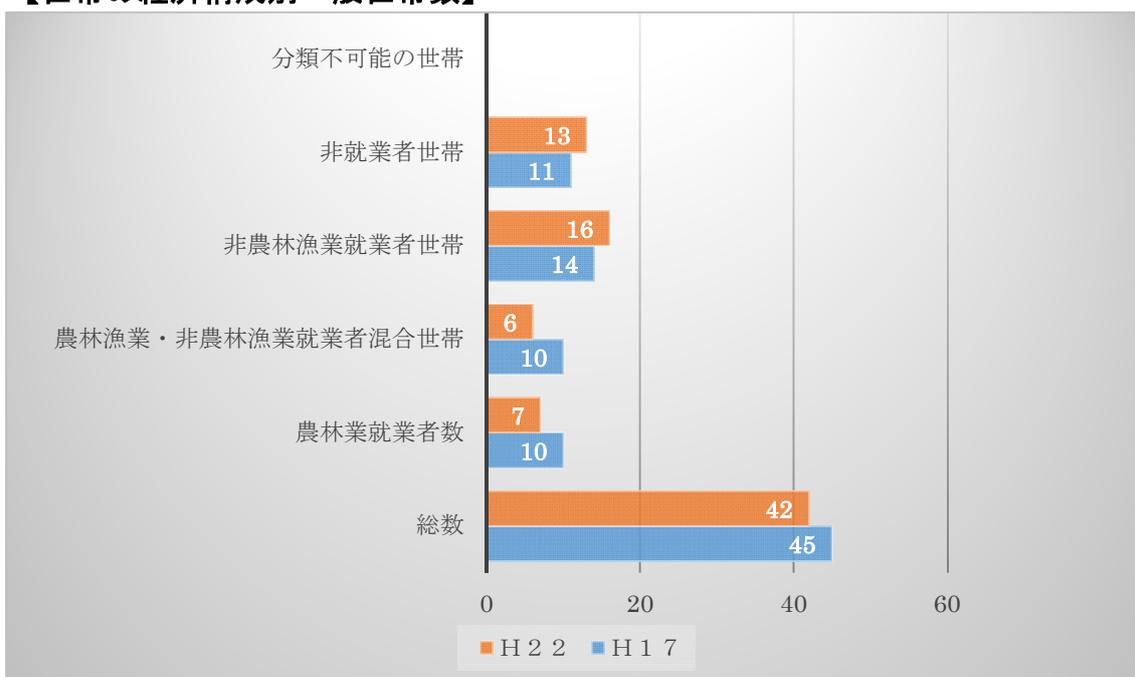
就業者数の移り変わりをみると、第1次産業、第2次産業就業者数が減少し、第3次産業に増加傾向がみられます。

地区が属する三浦湾周辺は、天然の岩礁が点在し、対馬暖流と大陸沿岸水が交錯して好漁場が形成されています。このため、豊富な魚類に恵まれ、水産業が発展し多くの船で地区がにぎわいました。

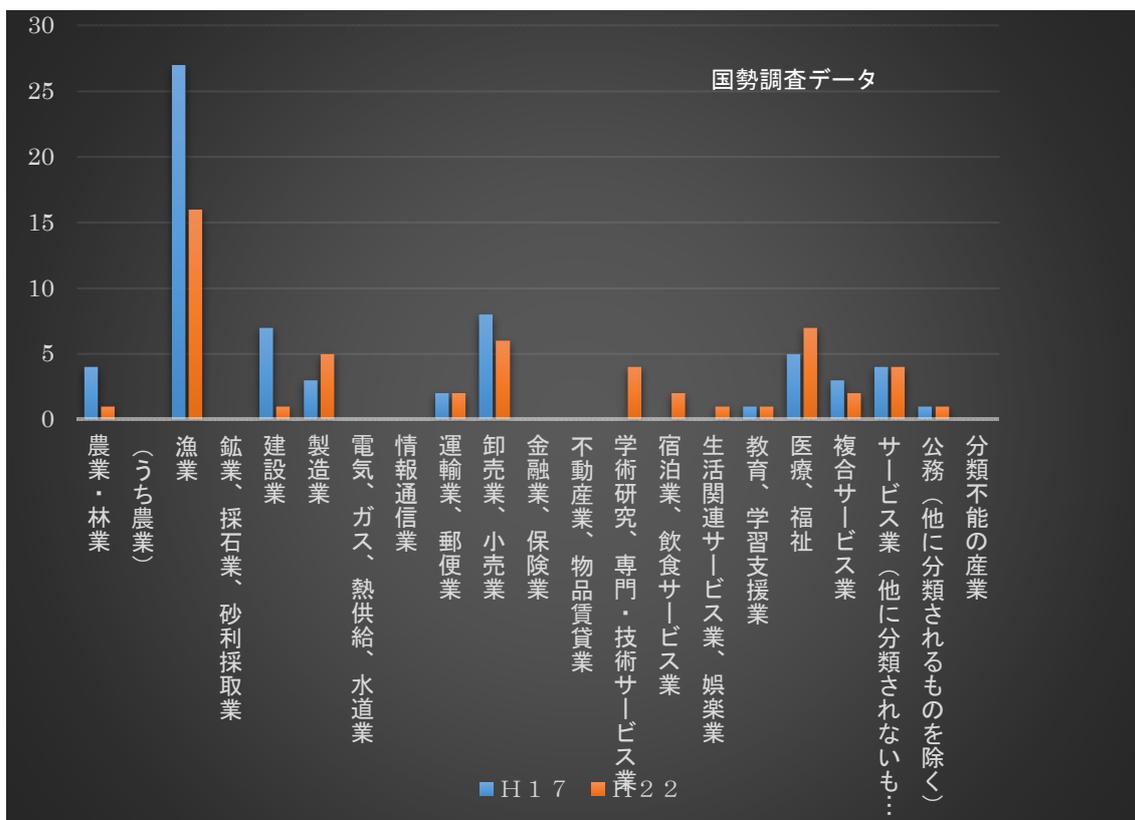
しかし、豊富であった水産資源は年々減少を続けており、平成17年には27人の漁業者から平成22年には16人と漁業者も減っています。

地区面積のほとんどを占める森林も、木材価格の低迷等による林業の就業者数も減少傾向にあり、間伐・保育が適正に実施されていない箇所が多くなっています。

【世帯の経済構成別一般世帯数】



【産業別の就業人口数】



2 地区の魅力・資源

1. 大切にしたいこと

<p>【暮らし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規約を守り連帯感をもって行事などに協力するところ。 ・家族のようにつながり、助け合いながら暮らしているところ。 	<p>【なりわい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産物加工所「対馬ひめがみ」。 ・イカ漁など海の仕事があるところ。
<p>【学び・交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りなど伝統や風習が残っているところ。 ・ゲートボールを通じて世代間を超えた交流ができるところ。 ・姫神砲台など歴史についての学習。 	<p>【風景・環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫神山など景観がよいところ。 ・水産資源の豊富な海があるところ。 ・森林資源の豊富な山があるところ。

2. 地区から出た意見・まとめ

(1) 現在の地区の魅力・いいなと思うところ

区 分	内 容
暮らし・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・治安が良いところ。 ・住民が仲良く和気あいあいと付き合いができるところ。 ・なに事にも地区の連帯感と絆が強いところ。 ・静かで暮らしやすいところ。 ・地区規約を守り、地区の行事が行われるところ。
景色・風景	<ul style="list-style-type: none"> ・姫神山からの眺めが最高で自慢できるところ。 ・山のみどり、海の青さがすばらしいところ。 ・穏やかな気候と澄んだ空気がおいしいところ。 ・入り江の深い湾と山に囲まれた地形がすばらしいところ。
資 源	<ul style="list-style-type: none"> ・姫神砲台、折瀬鼻砲台跡は歴史的建造物の価値があるところ。 ・豊富な海や山の海産物や森林があるところ。
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りや神事など伝統行事や風習が継承しているところ。
産業・なりわい	<ul style="list-style-type: none"> ・イカ釣り漁など海の仕事があるところ。 ・海産物加工所「対馬ひめがみ」があるところ。
健 康	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートボールをして健康に楽しく過ごせるところ。
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の地区清掃で地区の美化が保たれているところ。
学び・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・姫神砲台への見学者が増えたところ。

(2) 現在の地区の良くない、改善したいところ

区 分	内 容
暮らし・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・市道久須保緒方線が急カーブで幅員も狭く危険なところ。 ・少子高齢化で後継者不足になっているところ。 ・高潮により海岸道路が通行できなくなるところ。 ・休耕地が増えて、畑が荒れてきているところ。 ・出光貯油所があり火災等が心配される場所。 ・イノシシが家の周囲まで来て危険なところ。 ・定期路線バスなど交通手段が乏しいところ。
景色・風景	<ul style="list-style-type: none"> ・姫神砲台など見学者によるゴミの不法投棄があるところ。
資 源	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館の活用が少なく、維持もかかる場所。 ・イノシシによる畑などの被害がある場所。 ・姫神、折瀬鼻砲台跡を観光の名所に改善したい。
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・祭り事など年中行事が多く負担に感じる場所。 ・祭りがなくなったので復活できたらよい。

産 業・ なりわい	<ul style="list-style-type: none"> ・農水産物を活用した地元の味を伝承できたらよい。 ・イカ漁など時期によって漁が不振な時期があるところ。 ・働く場がなくなり、収入が減って生活に余裕がない。 ・農水産物を活用して商品づくりができると良い。
健 康	<ul style="list-style-type: none"> ・体操など健康づくりの場があるとよい。
環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・山の中に粗大ごみが不法に投棄してあるところ。 ・子どもをじっくりと育てていけるとよい。 ・観光客用にトイレがあるとよい。 ・雨が降るたび裏山が崩れないように改修できたらよい。
学び・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間を超えた交流の機会があるとよい。 ・交通の便が良くなるとよい。

(3) 10年後こうなって欲しくないこと

区 分	内 容
暮らし・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減って、寂しい地区になってほしくない。 ・交通の便、道路事情が悪くなってほしくない。 ・若者が減って後継者不足になってほしくない。 ・住民相互の繋がりや助け合いの気持ちを失いたくない。
景色・風景	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの不法投棄で美しい自然を失いたくない。 ・漂着、漂流ゴミで海岸が汚染されたくない。
資 源	<ul style="list-style-type: none"> ・姫神砲台など貴重な史跡を失いたくない。
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が減って伝統文化が失われたくない。
産業・生業	<ul style="list-style-type: none"> ・海の仕事が失われないようにしたい。
環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増えてほしくない。 ・生活用水で海が汚れてほしくない。 ・ゴミの不法投棄で山や海を汚染されたくない。

(4) 10年後こうなったらいいなと思うこと

区 分	内 容
暮らし・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・道路が整備され生活が便利になったらよい。 ・若い人が増えて活気がでたらよい。 ・笑顔で生きがいをもち、助け合いながら暮らしたい。 ・イノシシの被害がなくなるとよい。 ・林道が整備されるとよい。 ・子どもや孫と一緒に暮らせるとよい。
景色・風景	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが減って自然豊かな地区になったらよい。 ・緑の山、青い海が後世に受け継がれたらよい。

資 源	・ 姫神砲台跡が遺跡として登録できたらよい。 ・ 姫神砲台周辺の整備をして後世に残せたらよい。
伝統文化	・ 若い者が増えて、伝統文化が後世に伝承できたらよい。
産 業・ なりわい	・ 漁が盛んになって所得が増えたらよい。 ・ 働く場所が増えたらよい。 ・ 農水産物を使った商品が出来たらよい。 ・ 林道が整備され林業が盛んになるとよい。 ・ 若い者が増えて後継者が増えたらよい。
健 康	・ 必要な医療が受けられたらよい
環 境	・ 海や山がゴミで汚染されず美しい地区でありたい。
学び・交流	・ 姫神砲台を訪れる人が多くなって地区が活気づくとよい。

3 集落点検やデータの整理

地区の課題は地区によって一様ではありません。

地区に根ざしその実情やニーズに的確に、きめ細かに対応した住民の主体的な活動は、将来の地区の課題解決にとって重要な意義があります。

地区の課題を自ら把握し課題解決していくには、すべての住民がそれぞれ主体性をもって活動展開することで、新しい魅力や可能性の発見に繋がります。そうすることで固定的な役割分担への意識変化となり、新たな活動を展開することで将来の地区の課題解決につながります。

(1) 人的（人財）資源

地区の歴史や文化、風習など豊富な知識と経験が豊富な高齢者から将来を担う子どもたち、実行力と発想力を駆使してこれからの地区づくりの中心となる青年層、きめ細かなコミュニケーション能力と高い調整力をもつ女性など、すべての住民が地区づくりに重要な人財です。



区長を中心とする自治組織は、「地区規約」を基本に組織され、住民はこの規約を共有し行事や祭りごとに参加・協力するという精神が根強くあります。

- ・ 区長
- ・ 民生児童委員

- ・ 消防団員
- ・ 三浦湾漁協組合員
- ・ 老人クラブ会員
- ・ 育成会会員
- ・ 「対馬ひめがみ」従業員
- ・ 実行組合（本戸 21 戸） など

（２）物的資源（文化財・観光スポット、公共的施設等）

山と海に囲まれた自然豊かな暮らしのなかで生活してきた住民は、食べものを育んでくれる海、山、川、土などの自然に感謝しつつ、祈りを捧げてきたが故に、神社や仏閣などが多くあり、祭りなど伝統行事も多く伝承しております。

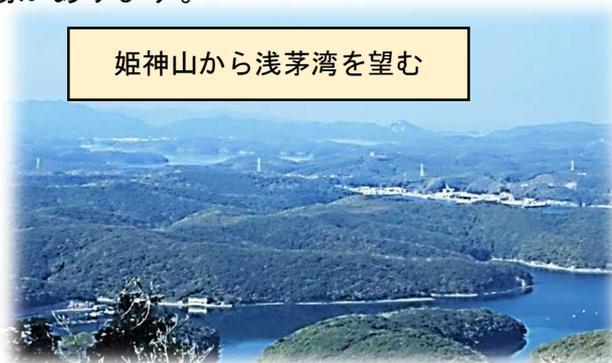
また、明治時代に造られた姫神砲台や折瀬鼻砲台などの歴史的建造物跡が残っており、特に姫神山砲台は保存状態も良く、そこからの眺望は、東は福岡県の沖ノ島、西は浅茅湾を一望できる何度訪れても素晴らしい景色が拝めます。



姫神山から浅茅山を望む

公共施設として、避難施設にもなっている地区体育館とコミュニティ活動の拠点となっている地区集会所、それに高齢者の健康づくりの場、集いの場となっているゲートボール場があります。

- ・ 姫神砲台跡
- ・ 折瀬鼻砲台跡
- ・ 折瀬鼻灯台
- ・ 見通し鼻監視所
- ・ 地区体育館
- ・ 地区集会所
- ・ ゲートボール場 など



姫神山から浅茅湾を望む



寶聚庵



消防格納庫



乙宮神社



姫神砲台



金毘羅神社



地区体育館



弘法さま



ゲートボール場



地区集会所

(3) 環境資源（森林・海・河川等）

地区は、対馬海峡に向けて開いている三浦湾と接し、湾南部は明治時代に切り通された万関瀬戸で、西岸に開いている浅茅湾とつながっています。

地理的に西には入江に富む浅茅湾がありますし、周辺には岩礁が点在し、対馬暖流と大陸沿岸水が交錯して好漁場が形成されているため、水産資源が豊富です。

また、姫神山（標高 172m）や明神岳（標高 155m）、紺青岳（標高 207m）など三方を山に囲まれており、植林されたスギやヒノキなど森林資源が豊富にあり、木材としての樹齢やパルプ材として利用できる森林資源が多く残っておりますが、林道整備が遅れているため資源の活用が図られていないのが現状です。

観光資源としては、姫神山砲台、折瀬鼻砲台には多くの観光客などが訪れており、道路を含めたインフラ整備を行うことで更に観光資源としての価値を高めることができます。

- ・ 姫神山
- ・ 紺青岳
- ・ 折瀬山
- ・ 緒方浦、三浦湾 など





(4) 産業・なりわい

自然に囲まれた当地区は、主に海に生活の糧を求め生活を営んでおり、イカ釣りを中心に漁船漁業や、沿岸各地でアワビ、サザエ、ウニ、ヒジキ等の採貝藻漁業が盛んです。

しかし最近では、水産資源の減少と燃料の高騰などにより漁師を廃業するなど漁業従事者も減少し、併せて後継者不足も深刻な問題となっております。

そういう状況のなか、平成 22 年に 5 人の女性が海産物加工所「対馬ひめがみ」を興したり、イカ釣り漁だけでなくあなご漁やえ縄漁への取り組みや、イカを急速冷凍してインターネットで販売するなど地場産業の活性化に向けた取り組みも伺えます。

- ・水産物加工所「対馬ひめがみ」
- ・竜宮商店
- ・イカ釣り漁
- ・あなご漁
- ・延縄漁



緒方浦に沿った県道「緒方海岸線」は、高潮のときには道路の一部が潮水で冠水し通行できなくなります。

多くの人々が訪れる「姫神山砲台跡」や「折瀬鼻砲台跡」へは、市道「姫神灯台線」がありますが、一部コンクリートで舗装されておりますが、ほとんど未整備の状態、雨で表土が流れ凹凸が激しく、自家用車での通行は困難なうえに、幅員も狭いため離合はできません。

地区の観光資源を活用した活性化と生活の利便性を高めるために早期に対策を講じる必要があります。

- ・市道「久須保緒方線」
- ・市道「姫神灯台線」
- ・市道「緒方公民館線」
- ・市道「緒方中央線」
- ・県道「緒方海岸線」 など



※市道久須保緒方線は、急カーブが幾重にもあり見通しが悪く、路肩には草が生い茂り車道と側溝の境が分りにくい危険な道路です。



※市道姫神灯台線は、ほとんど舗装もされておらず、雨で表土が流され表面が凸凹し、かつ、土石が露出しており、車両の通行の妨げとなっております。



上段は、緒方浦の周囲をめぐる県道海岸道路。

下段は、集落内を縦横する主要な市道。

(6) 交通

国道から入り込んだ地区の地理的デメリットを解消するには、交通体制の整備を図ることで地区の活性化と生活の利便性を高めることに繋がります。

買い物や通勤、通院などの日常に用いる交通手段としては、公共のバスを利用するか、タクシーを利用するか、自家用車ということになります。

しかし、公共バスについては、バス停はあるものの定期便はなく、児童生徒は通学バスを利用しておりますが、一般住人は利用できません。

バスを利用するには、国道にあるバス停まで歩かなければならず、高齢者や子どもにとって非常に困難で危険です。タクシーについては、地区から市内中心部まで個人で利用した場合には、多額の個人負担が生じ高齢者には大きな負担となっているため、乗り合わせ等を行っています。

また他地域で別居している家族・親類が送迎したり、近所で車を運転できる人に頼るケースも見られます。

公共バスはないものの、住民同士の助け合いや家族の繋がりにより、交通手段はある程度確保できているともいえるが、高齢者が多い地区なため将来的な交通手段の確保には課題を残しています。

少子高齢化が進む中、住民の足を確保することは、地区の活性化を図ることだけでなく安全安心な生活を維持するための重要なことです。

(7) 防災・防犯

平地が少なく四方を海と山に囲まれた地形なため、住宅は密集して建てられ、すぐ傍まで山が迫り、すぐ目の前が海に面しているところで生活しております。そういう地形であるため、裏山の崩落や高潮による道路や住宅の浸水など自然被害への対策を講じる必要があります。

また、(株)新出光石油の貯油所には大量の燃油やガスタンクが貯蔵しており、万が一、火災が発生し幹線道路である市道「久須保緒方線」が閉鎖された場合には、避難経路が失われ、地区が孤立することも予測されます。

有害鳥獣であるイノシシの被害については、作物を荒らすだけでなく、最近では家の庭先にまで出没するようになり、人に危害を与える恐れがあり人的被害も危ぶまれます。

地区内の川については、かなり多くの土砂が堆積しているうえに、竹など雑木が生い茂り大量の雨水を堰き止め川が氾濫することがありますので、その対策についても講じる必要があります。

4 ゴール（10年後の姿）

1. 基本理念

「人の繋がりと絆の緒方を、誇りと自信をもって暮らせる地区とします」

人口減少、少子高齢化の進展、産業構造の変化、生活環境の変化の中で、経済的、社会的活力の低下や産業力の低下など地区の課題は一様ではありません。

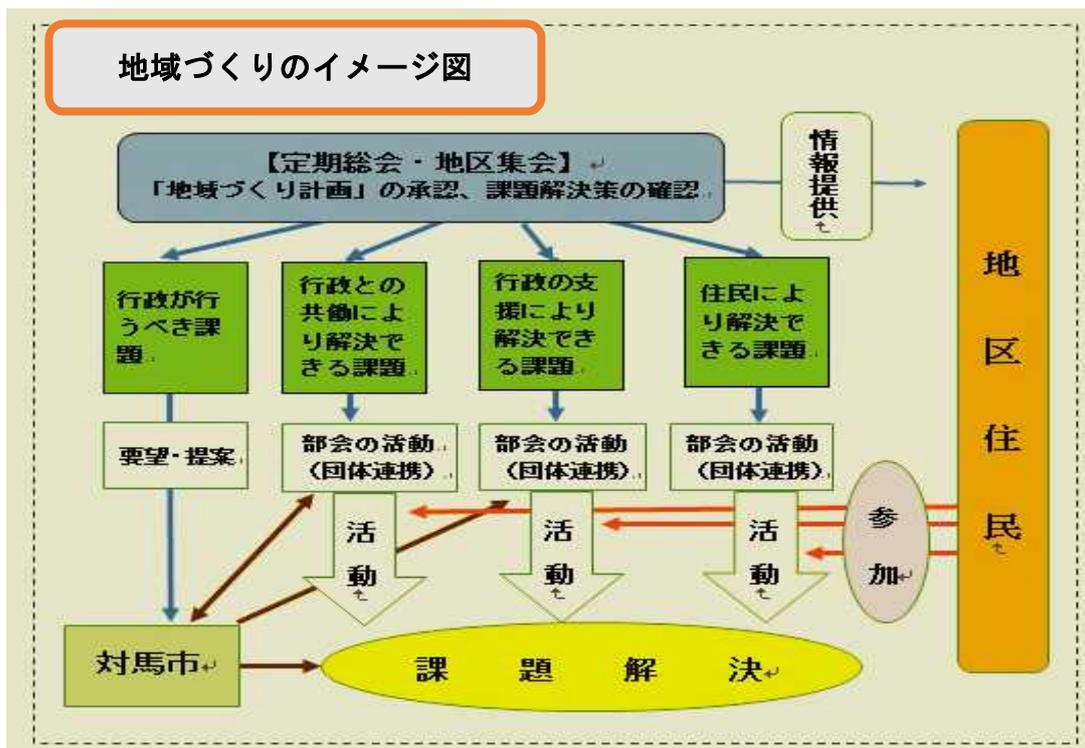
地区に根ざし、その実情やニーズに的確に対応した住民の主体的な活動は、将来の課題解決にとって重要な意義があります。

私達がつくる将来の緒方地区は、自然や文化を守り、絆の精神を持ち続け、誰もが健康で生き生きと暮らせる地区づくりと、郷土愛を忘れない人づくりを目指します。

2. スローガンと方針

～『地区を知り、地区の繋がり^{びいき}と絆で緒方「美活喜」なまちづくり』～

1. 魅力的な風景や歴史や文化など後世に継承した地区づくり
2. 世代や分野を超えた多様な交流を確保した地区づくり
3. 安全安心で、交通の整備を確保した地区づくり
4. 地区の活性化に向けた地区づくり



5 ゴールに向けた具体的な活動内容

1. 自治活動による重点取り組み事項

- (1) 魅力ある風景や大切な資源など、地区の顔として後世に継承します。
- (2) 世代を超えた多様な交流の機会を提供するとともに、伝統行事の継承に取り組めます。
- (3) 自然災害に強い地区づくりと生活交通の整備の確保に取り組めます。
- (4) 地区の特産品を維持し、観光資源を整備することで産業の活性化に取り組めます。
- (5) 地区内の情報交換を活発化し、住みよい地域づくりをすすめ、定住促進に取り組めます。

2. 長期的な課題と対応

(1) 防災・防犯

災害に強い地区づくりは、住民の人命を守ることはもちろん、安全で安心な生活や貴重な財産を守ることに繋がります。

アンケートでは、「道路整備など交通事故対策」、「高潮など自然災害対策」、「有害鳥獣対策」や「火災時の地区の孤立」などがあげられています。

かけがえのない生命・財産を守り、安心した生活を営むため、災害、防犯等に対して対策を講じるとともに、地域の自主防災・防犯体制の充実により災害発生時などに的確に対応できるよう、危険箇所を把握するためにハザードマップを作成し、地区と県や市などの関係機関との間で改めて危険箇所の共有を図り、災害防止対策や避難対策について検討していきます。

また、災害対策については、多額の予算と長期計画が伴ってきますので、地区だけで解決することは困難ですので、県や市に対して災害予防対策について要望・提案していきます。

- ・ 高潮対策
- ・ 裏山の崩落対策
- ・ 川の土砂、雑木除去対策
- ・ イノシシなどの有害鳥獣対策
- ・ ハザードマップの作製
- ・ 避難場所（高台）の新たな造成
- ・ 避難経路の確保対策
- ・ 消防団員への勧誘と育成
- ・ 避難訓練の実施



高潮被害の様子



川に生い茂った竹





川に堆積した土砂



老朽化した橋



イノシシの被害から作物を守る



裏山が住宅に迫っている様子



(2) 道路

幹線道路である市道「久須保緒方線」は、地区と他の地域とを結ぶ重要な生活用道路であり、水産加工物や燃油などの物流を運ぶ道路として無くてはならない道路ですが、急カーブ、大型車両の通行、法面からの土砂崩

落など決して安全な道路とはいえません。久須保緒方線の改良整備は、住民生活の利便性と安全で安心な地区づくりを高めるためには最重要な課題であります。

市道「姫神灯台線」は、ほとんどが未舗装で幅員も狭く対向車同士が離合できないなど道路状態、交通状況が非常に悪くなっています。地区の活性化を目的に姫神砲台跡地を観光資源として活用し、更なる交流人口の拡大を促すためにも改良整備は必要不可欠であります。

このふたつの市道の道路改修については、地区の最重要課題としてとらえ、地区内に組織した「緒方道路建設促進委員会」を中心として市や県に対し陳情・要望の活動を進めていきます。

集落内道路については、地域マネージャーの原材料費支給などの補助金を活用しながら、側溝ふたの設置や未舗装箇所など高齢者や子どもたちが安全に安心して通行できるように地区住民で取り組んでいきます。

- ・ 市道の整備対策（久須保緒方線、姫神灯台線）
- ・ 道路の側溝ふた設置対策
- ・ 高潮による海岸道路の冠水対策
- ・ 港湾漁港用地の未舗装箇所の整備（海岸埋立地）



(3) 交通手段の確保

少子高齢化が進むなか、自家用車などの交通手段を持たない交通弱者が増えていくことが大いに考えられます。

安心して暮らし続けるには、交通手段の確保により、買い物や通院など心配なく交通機関を利用できる必要があります。

学生を除けば路線バスを定期的利用する住民は少なく、多くの住民が定期バスを利用するとは考えにくいいため、デマンド型の公共交通機関の整備や高齢者が多くなることを考えた場合に自宅から目的地まで

直接乗りつける乗り合いタクシーの導入が望まれます。

また、姫神砲台などの観光資源を活用した地区の活性化のためにも交通網の整備は必要であります。交通の利便性が高まれば「地区に住む人が増える」、「地区に来る人が増える」、そして、人口減少を食い止めることに繋がります。公共バスの定期運行とデマンド交通体制の導入について市や関係機関に要望していきます。



(4) 生活習慣・伝統行事

「規約」に沿って、地区の祭りなど実施しておりますが、人口減少と少子高齢化により、住民の負担が大きくなり維持することが難しくなり内容を簡素化せざるを得なくなり、「いのこ」や「盆踊り」など既に途絶えてしまったものもあります。

少子高齢化が進んでいくなか、伝統行事を継承していくには、かなりの努力と困難さを要しますが、一度途切れてしまうと復活させるにはますます困難になっていきます。



生活習慣や伝統行事など途切れさせないためにも、将来を担う子どもたちに、住民が一体となり、子どもたちに歴史や文化、自然を伝えることが大切になってきます。

これまで同様、高齢者から子どもまですべての住民が積極的な参加協力による人財育成と継承を図るとともに、住民の負担軽減のため活用できる補助金等を活用したり、アドバイザーや専門家による指導の機会を設定しながら取り組んでいきます。

- ・祭りなどの継承対策
- ・「いのこ」や「ホケンキョ」など伝統行事の復活
- ・伝統行事の記録保存

(5) 環境・衛生

海や山に携わる仕事で生計を営んでいる住民にとって、自然環境・衛生環境の保持は、資源の確保とともに産業の振興となり、暮らしの安定へとつながります。自然豊かな環境の中で子どもを育て、安全安心な食料を口にするという人間の本来の暮らしを誰もが求めるところであり、自然豊かな環境は、将来を担う子どもたちに「郷土愛」を育み人材の育成につながります。姫神砲台の整備とともに地区を訪れる方々が増えた一方で、ゴミの不法投棄がみられ、恵まれた自然の景観が失われつつあり、ゴミの不法投棄が引き起こす自然と観光の共生が大きな課題になってきています。併せて、観光客などに対する公衆トイレの設置の必要性も課題となっています。地区の自然を守り環境に優しい暮らしの実現に向けて、必要な環境整備を整えていく要望活動と清掃活動に地区で取り組むとともに、県や市からの環境情報を住民で共有しながら、住民と関係機関がお互いに意識を高め、環境に優しい地区づくりを進めます。



- ・海の汚染対策
- ・不法ゴミ対策
- ・環境美化対策
- ・公衆トイレの設置対策

(6) 自治活動

地区には、先人から受け継がれてきた「規約」に基づき自治活動が行われ住民同士の絆が構築されてきました。

また、地区戸主総会と地区戸主集会を自治活動の住民の意思確認の場として、課題解決のための機能を活かしながら健全な自治運営を推進しております。

すべての住民が自治活動に必要な人材（人財）として、協力し合い生き生きと安定した豊かな生活が送れるようお互いの絆を深め助け合いながら、子どもた



ちが「誇り」を感じ、「住み続けたい」という郷土愛の精神を持ち続けられるような自治活動に引き続き取り組んでいくとともに、地区の「規約」を共有し、「規約」に基づいた防犯・防災活動など住みやすく安心安全な地区づくりを目指していきます。

(7) 産業・なりわい

地場産業の衰退は、雇用の場の喪失とともに人口流出を促し生活環境に大きな影響を及ぼす結果となりました。

少子高齢化と過疎化による後継者不足を解消し地区の活性化を促すためには新たな産業の創出や活性化対策が望まれます。

漁獲量の低迷と燃油高騰など、厳しい自然状況、社会状況の中ではありますが、水産物加工所「対馬ひめがみ」が伝統料理「ひめがみ漬」を商品販売化し、伝統料理の継承と地区活性化に一役担っております。これからは、販路の拡大と消費者のニーズに合った新商品づくりに課題が残っております。

最近では姫神砲台跡を訪れる観光客も多く、ここを観光スポットとして整備し交流人口の拡大を図り地区の商品の販売拡大に結びつけることで、地区で水揚げされた海産物の消費拡大を目指し観光と産業を融合した新たな産業(なりわい)づくりが期待できます。

また、山には、材木として活用できるスギやヒノキ、パルプ材に利用できる森林資源が豊富にあり、その資源の活用が期待できますが林道が整備されていないため、活用できていないのが現状です。

新たな産業づくりや産業資源の活用に必要な設備やインフラ整備のために県や市に対し要望を行っていくとともに、地元の事業所を起点とした産業の拡大が図られるよう補助金の活用やアドバイザー等の活用を行っていきたいと思います。

- ・ 後継者対策
- ・ 森林資源の活用と林道整備対策
- ・ 観光協会などとの情報の共有
- ・ 商品開発と販路の拡大対策



(8) 人口減対策

今後 10 年後には、高齢化率が 56%に達し限界集落になる恐れがあります。

また、更なる少子高齢化の進行は、地区のコミュニティの維持が困難となり、継承されてきた伝統行事だけでなく地区の繋がりや絆も失われることとなります。地区コミュニティを維持していくことは、島外へ出た子どもや孫など、

戻ってくる可能性を持続することに繋がります。

住民がこれからも健康で生きがいを感じながら暮らせるよう、また、島外からのUIターン者が住んでもらえるように空き家等の情報提供や移住者の様子見、相談など受け入れのための環境整備に努めていきます。

知らない人を受け入れるのには抵抗があるとか、集落に馴染めるかという不安に対し、空き家の有効活用について勉強会などを開いていきたいと思えます。

- ・ 定住支援活動対策
- ・ 空き屋の調査と情報発信

(9) 観光資源の整備・保存

地区には明治時代に建造された姫神砲台、折瀬鼻砲台など歴史的に貴重な建造物があり、特に姫神山の砲台跡は保存状態も良く保たれております。

砲台は戦争の負の遺産といわれる方もありますが、かつての戦争の時代を物語る遺跡であり、歴史的にも対馬が国防の先陣基地であったという歴史的事実を後世に伝えることのできる歴史の生きた教材になりえます。

戦争体験のない「親世代」が大半になり、戦争体験の「風化」がすすみ、子どもたちに戦争や平和を語り継いでいくための「生き証人」としての遺産とするともに観光資源とした拠点づくりに向けて歴史に関するパンフレットの作成並びに刈り払いや植栽作業により整備していきます。

維持整備と観光資源活用に向けた市道「姫神灯台線」の早期整備について、市に対し要望していきます。

- ・ 姫神砲台跡地の刈り払い対策
- ・ 姫神砲台跡地の植栽対策
- ・ 歴史パンフレットの作成
- ・ 市道「姫神灯台線」の整備対策



プレスツアーの様子



姫神砲台整備活動の様子

(10) 健康教育・社会教育

人口減少は、年齢階級別の人口構成の変化を伴うものであり、高齢化率の上昇と高齢者数の増加が見込まれます。

高齢化が進む中では、健康年齢を延伸するとともに病院ではなく地域で生き生きと暮らせる地区づくりが求められますので、高齢者を中心に据えた健康・福祉に関する健康づくり教室を提供していきます。

また、将来を担う子どもたちに「生きる力」と郷土を愛する精神を育まれるよう、すべての住民が、子どもと積極的に接することができる住民同士の連携と協力が進められるための世代間を超えた多様な人々が参画できる機会づくりに取り組みます。

- ・ 健康教室の開催
- ・ 健康づくりスポーツの開催
- ・ 歴史や資源に関するリーフレットの作成



スポーツ大会の様子



6 実行・検証

1. 誰もが暮らしやすい環境づくり

- (1) 快適な居住環境の形成を目指す
 - ① 各種設備の新設・改修・維持管理
- (2) 道路交通基盤の充実を目指す
 - ① 道路の新設・改良・補修・維持管理対策
 - ② 公共交通網の整備対策
- (3) 安全で安心な地区を目指す
 - ① 防災・消防・緊急対策
 - ② 防犯・交通安全対策
 - ③ 有害鳥獣被害対策

2. 生き生きとした暮らしづくり

- (1) 健康づくりの推進を目指す
 - ① 健康づくり対策

3. 活力の創意と産業振興づくり

- (1) 産業の振興を目指す
 - ① 産業振興対策
 - ② 産業関連施設・設備等の対策

4. 伝統行事の継承と人財育成づくり

(1) ふるさとの文化の保存・継承を目指す

- ① 伝統行事の保存・継承対策
- ② 人財育成対策

7 基本方針・推進目標・施策の事業内容

※ 計画の3本柱となる『基本方針』、『推進目標』、『施策』に基づいて地区が採択した事業内容についてまとめました。

1. 誰もが暮らしやすい環境づくり

(1) 快適な生活及び居住環境の形成を目指す

施策名	計画年度	実施団体	対象となる事業内容
対策 新設・改修・維持管理	1～3年	市・区	体育館（避難所）の給水設備の要望と設置
	1～3年	市・区	ごみステーションの要望と設置
	1～3年	市・区	集会所トイレの洋式への要望と改修
	1～3年	市・区	集会所のバリアフリー化への要望と改修
	継続	区	地区清掃活動を実施する
	継続	市・区	道路の悪いところを補修する

(2) 道路交通基盤の充実を目指す

施策名	計画年度	実施団体	対象となる事業内容
新設・改修・補修・維持管理対策	継続	市	市道「久須保緒方線」の新設要望
	継続	市	市道「久須保緒方線」のカーブミラー設置
	継続	市	市道「久須保緒方線」の側溝敷設
	継続	市	市道「久須保緒方線」の法面整備
	継続	市・区	市道「久須保緒方線」の雑草刈り払い
	継続	市	市道「姫神灯台線」の舗装
	継続	市	市道「姫神灯台線」の拡張整備
	継続	市・区	集落内市道及び里道の整備
	継続	県・市	海岸道路の未舗装箇所の改修要望
	継続	県・市	海岸道路の高潮対策要望
	1～3年	市	老朽化橋の改修

網対策 公共交通	1～3年	市	公共交通バスの定期便の導入
	4～10年	市	乗り合いタクシーの導入

(3) 安全安心な地区を目指す

施策名	計画年度	実施団体	対象となる事業内容
防災・消防・救急対策	継続	県・市	高潮の災害対策要望
	4～10年	県・市	川の氾濫対策要望
	1～3年	市・区	川の土砂、雑木撤去作業
	4～10年	県・市	落石防止対策要望
	4～10年	市・区	空き家修繕費用の対策
	継続	区	高齢者の安否確認
	1～3年	区	ハザードマップの作製
	4～10年	県・市	避難場所の造成の要望と整備
	1～3年	区	避難・誘導訓練の実施
	継続	市・区	消防団員の勧誘と育成
全対策 防犯・交通安全	1～3年	区	防犯灯の設置要望
	1～3年	市	防犯灯の改修、設置
	1～3年	区	カーブミラー設置要望
	1～3年	市	カーブミラーの改修、設置
被害対策 有害鳥獣	1～3年	区	防護柵の設置要望
	4～10年	市・区	防護柵設置補助金の活用
	4～10年	市・区	有害鳥獣の駆除要望、駆除対策

2. 生き生きとした暮らしづくり

(1) 健康づくりの推進

施策名	計画年度	実施団体	対象となる事業内容
健康づくり対策	1～3年	市・区	健康教室の開催と参加を促す
	継続	区	スポーツ大会の開催と参加を促す
	継続	市・区	スポーツ大会の費用の情報提供と申請
	1～3年	市・区	ゲートボール場の整備
	1～3年	区	ゲートボール場整備補助金の活用
	1～3年	市・区	高齢者が集う場所の改修・補修・維持
	1～3年	市・区	健康づくりを目指した設備、備品等の整備

3. 活力の創意と産業振興づくり

(1) 産業の振興を目指す

施策名	計画年度	実施団体	対象となる事業内容
産業振興対策	1～3年	県・市	講師を招き商品開発に繋げる
	継続	市・区	商品情報の発信とリピーターの確保
	1～3年	市・区	加工技術の向上のためアドバイザー派遣制度の活用
	1～3年	市・区	法人化・団体化など経営の見直し
	継続	区	加工商品や季節商品を売り込む
	1～3年	市・区	域学連携による販売拡大に向けた取り組み
	1～3年	区	観光客などに対し地元商品を販売する
	継続	市・区	姫神砲台など観光資源の整備
	継続	市・区	先進地視察による研修
	1～3年	市	有害鳥獣の駆除と農作物被害の対策
	1～3年	市・区	新たな産業づくりに係る補助金の活用
産業関連施設・設備等対策	4～10年	市・区	農道の整備要望と新設・整備・補修維持
	4～10年	市・区	里山の整備・維持
	継続	市・区	姫神灯台線の改修要望、拡幅整備工事
	4～10年	市・区	公衆トイレの設置要望、設置
	継続	区	姫神砲台跡周辺の植栽活動
	1～3年	市・区	姫神砲台跡の看板、案内板の要望、設置
	1～3年	市・区	パンフレットの作成と公共機関への配布

4. 伝統行事の継承と人財育成づくり

(1) ふるさとの文化の保存・継承を目指す

施策名	計画年度	実施団体	対象となる事業内容
継承対策 保存・ 伝統行事の	継続	区	伝統行事の参加、協力を促し次世代へ継承
	継続	区	ホケンキョなど伝統行事の復活に取り組む
	継続	区	伝統行事に使用する資材の確保・補修・維持管理に取り組む

(2) 人財育成対策

施策名	計画年度	実施団体	対象となる事業内容
人財育成対策	継続	区	地区行事への参加により絆を深める
	継続	市・区	歴史に関する講座と参加を促す
	1～3年	区	地区行事の記録の保存
	1～3年	区	資料の収集などに取り組む

おわりに

この「地域づくり計画書」の策定にあたり、皆さんにはアンケートの協力や集会などで、貴重なご意見を頂きましたことに感謝申し上げます。

地区の将来を考えたときに、「人口は減少し」、「高齢化が進み」、やがて「限界集落」に等々・・・いろいろな課題が。

しかし、決して悲観的になることはありません。地区には、いろいろな知恵と経験をもった人（人財）がいるかぎり、素晴らしい将来に変えていけると思います。

「夢」と「希望」がもてる魅力ある地区づくりのために、この「地域づくり計画書」がその手引書になれば、幸いです。



8 資料

■ 「地域づくり計画」完成までの経緯

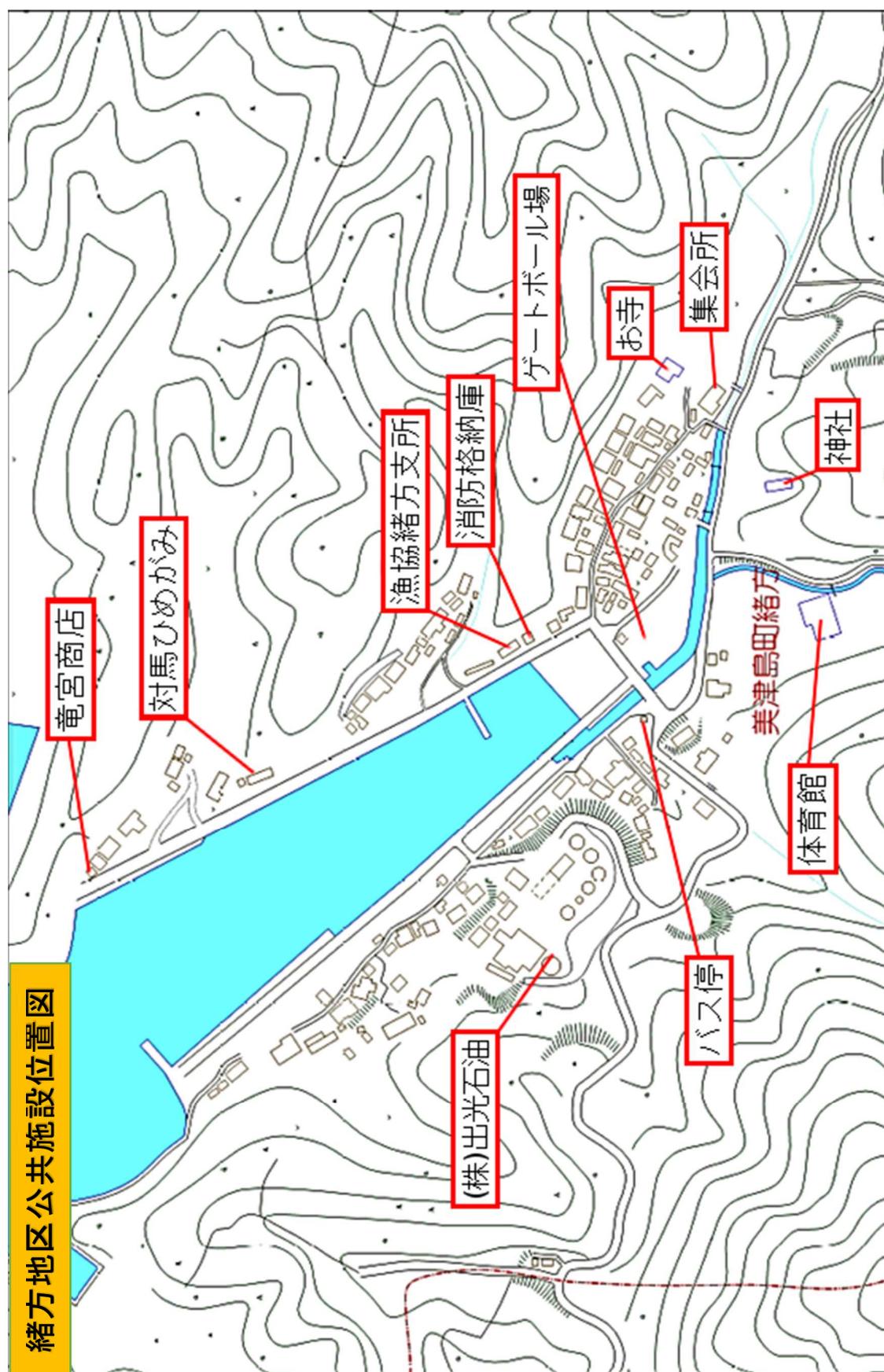
年月日	会議等	備考
2014. 8. 1	地区座談会	アンケート実施について
2014. 9. 28	アンケート配布	
2014. 10. 1	アンケート回収	
2014. 12. 28	アンケート結果報告	地区戸主集会
2015. 1. 16	内部集落支援員と協議	地区役員及び関係者協議
2015. 2. 15	内部集落支援員と協議	地区役員及び関係者協議
2015. 2. 20	内部集落支援員と協議	地域づくり計画作成委員会
2015. 3. 29	地区戸主集会	
2015. 10. 10	地域づくり計画作成委員会	
2016. 1. 28	地域づくり計画作成委員会	
2016. 2. 19	地域づくり計画作成委員会	
2016. 3. 27	地区戸主総会	地域づくり計画書の承認

■ 緒方地区づくり計画策定委員名

役職名等	氏名
区長	田口一男
民生・児童委員	近藤正利
老人クラブ会長	松島泰助
育成会役員	川崎清治
消防団長	田口貴雄
三浦湾漁協理事	川崎辰日出
対馬ひめがみ代表	田口まつえ
道路建設推進員会長	田口義則
実行組合長	松島泰助

地区の自己診断アンケート集計結果票							
調査内容		集計結果					
防災 防犯	防災・防犯体制は整っているか。	ない	10	ある	11	無回答	7
	防火水槽又は消火栓等は整っているか。	ない	9	ある	16	無回答	3
	災害時の報知(サイレン等)は整っているか。	ある	18	ない	3	無回答	7
	古井戸、池、用排水路、道路側溝など安全の為の設備(柵、蓋、照明、看板など)が設けられているか。	ない	13	ある	12	無回答	3
	夜間、暗い所に防犯灯は設けられているか。	ない	4	ある	20	無回答	4
	雨が降ると水に浸かりやすい住まいはないか。	ある	8	ない	18	無回答	2
	災害の危険性がある時、避難する場所はあるか。	ある	21	ない	5	無回答	2
道路	見通しが悪くて危険を感じているところはないか。	ある	19	ない	8	無回答	1
	道幅が狭く、危険を感じているところはないか。	ある	21	ない	5	無回答	2
	車の通行量が多く、かつ歩道が無い為、危険を感じているところはないか。	ある	14	ない	11	無回答	3
	カーブミラー、交通標識等は、必要に応じて設置されているか。	ない	14	ある	11	無回答	3
	地域内道路で段差があつて、高齢者や障害者に危険と思われるところはないか。	ある	15	ない	10	無回答	3
遊び場	子どもたちが自然とふれあえる場所、あるいは土の上で遊べる場はあるか。	ある	20	ない	5	無回答	3
	遊び場は、大人の目が届く状態になっているか。	ない	6	ある	16	無回答	6
	遊び場は、子供が安全に往復できる場所にあるか。	ある	19	ない	5	無回答	4
健康 生活	健康を守るための食生活等についての勉強会を計画的に行っているか。	ない	25	ある	1	無回答	2
	体力づくりのため、体力測定、スポーツ教室、スポーツ活動などを計画的に行っているか。	ない	23	ある	3	無回答	2
	気軽に楽しめる軽スポーツや催し物などができる広場が近い場所にあるか。	ある	20	ない	6	無回答	2
	健康を守るための「家庭の日」や「農休日」が設けられているか。	ない	21	ある	1	無回答	6
	休養や睡眠を妨げる騒音や振動、悪臭などはないか。	ある	7	ない	17	無回答	4
環境 ・ 衛生	道ばた、河川、山林、空き地などにゴミ、空き缶などが捨てられていないか。	ある	24	ない	3	無回答	1
	ペットの糞などがよく捨てられている道ばた、公園、山林、空き地などはないか。	ある	10	ない	12	無回答	6
	道路、側溝、集会施設、花壇などは、時期を決めて一斉に清掃活動などが行われているか。	ない	2	ある	25	無回答	1
	生活排水が直接、道路、耕地、用水路、河川、湖沼などに流されている所はないか。	ある	18	ない	7	無回答	3
	河川などにゴミがたまりやすい所はないか。	ある	21	ない	6	無回答	1
	ゴミの集積場所は整備されているか。きれいに管理されているか。	ない	6	ある	21	無回答	1
	雑草が生えているところはないか。	ある	22	ない	1	無回答	5
	汚水、汚物、ばい煙、ガス、粉塵、有害廃棄物など、企業排出物による被害はないか。	ある	5	ない	20	無回答	3
	将来に残しておきたい自然(林野、河川、湖沼、景勝地、珍しい動植物)があるか。	ある	15	ない	9	無回答	4
	地域内美化のため、花づくりや緑化活動などが行われ、整備されているか。	ない	13	いる	10	無回答	5

生活慣習・相互扶助	共同給水施設(上水道、簡易水道、小規模水道など)が設けられているか。	ない	4	ある	17	無回答	7
	通勤、通学、買物などにバスなどの便があるか。	ある	9	ない	17	無回答	2
	食料品、雑貨など日常生活に間に合う程度の商品があるか。(概ね2~3km以内)	ある	18	ない	7	無回答	3
	病院、医院があるか。(車で10分以内)	ある	12	ない	15	無回答	1
	冠婚葬祭の合理化について、申し合わせがなされているか。	ない	15	ある	8	無回答	5
	日常の付き合いやしきたりの中で、住みにくさについて改善の話し合いや申し合わせがなされているか。	ない	18	ある	8	無回答	2
	集合時間の厳守、会合や共同作業への出席敢行、あいさつ敢行などの申し合わせがなされているか。	ない	3	ある	21	無回答	4
	祝儀、葬儀、病氣、事故、災害などの手伝いや見舞い、作業の手伝い、留守中の子どもや高齢者の世話などの申し合わせがなされているか。	ない	6	ある	16	無回答	6
	集会施設	会議、料理講習会、保育、読書、娯楽、催し物など、多目的に利用できる施設があるか。(公民館等を含む)	ある	21	ない	3	無回答
簡単な会議や集会など、人々が集まる施設が身近にあるか。		ある	20	ない	1	無回答	7
娯楽・文化	みんなで楽しめる祭り、盆踊り、運動会などの行事が、住民の賛同を得て計画されているか。	ない	16	ある	8	無回答	4
	故郷の歴史、芸術、芸能、物財などの掘り起こし、保存、伝承などが行われているか。	ない	18	ある	4	無回答	6
	新しい文化の創造が行われているか。	ない	19	ある	2	無回答	7
	寺社、名所旧跡、名物名産、人材、物財など、自慢できるものがあるか。	ある	16	ない	7	無回答	5
	名所旧跡、物財などの管理、清掃などが行われているか。	ない	8	ある	13	無回答	7
住民活動・自治活動	婦人会、青年組織、子ども会、老人会などがあり、計画的に活動しているか。	ない	9	ある	12	無回答	7
	生産や生活に関する集団や組織があり、計画的に活動しているか。	ない	13	ある	9	無回答	6
	趣味の会、同好会などがあり、計画的に活動しているか。	ない	17	ある	5	無回答	6
	住民への連絡事項は速やかに伝えられているか。	ない	4	ある	20	無回答	4
	自治会の運営が円滑になされているか。	ない	7	ある	14	無回答	7
	役員は、適材適所主義により、民主的に選ばれているか。	ない	6	ある	16	無回答	6
	地域の暮らしを高める活動が行われているか。	ない	12	ある	10	無回答	6
	年間予算が編成され、計画的に運営されているか。	ない	9	ある	14	無回答	5
	平素の暮らしで困ったことを地域で解決する仕組みが作られているか。	ない	11	ある	11	無回答	6
	自治会活動に、子ども、青年、女性、高齢者など戸主以外の意見が反映できる仕組みになっているか。	ない	15	ある	8	無回答	5
	役員等の世代交代が進んでいるか。	ない	4	ある	19	無回答	5
	単なる要望団体ではなく、地域のことは地域で解決するという基本的姿勢は浸透しているか。	ない	8	ある	16	無回答	4
	他の地域や組織等と共同した活動を行ったり、話し合う仕組みが出来るか。	ない	13	ある	10	無回答	5



災害危険警戒箇所図

